

つ の みつとし
津野 充聡

美術（彫刻）

72 歳（贈呈式 12/2 現在） 神戸市兵庫区



業 績

東京造形大学にて具象彫刻の第一人者故佐藤忠良氏の下、具象彫刻の基礎を学ぶ。愛知県立芸術大学大学院で塑像の研究を重ねた後、出身の神戸に戻り教職に就きながら創作を継続。神戸具象彫刻大賞展、ロダン大賞展、木内克大賞展など、野外彫刻コンクールで入賞入選を重ね、出品した作品は神戸市内、国内の各地に設置されている。個展や兵庫県彫刻家連盟展をはじめ、自ら立ち上げた「立体造形展」など数多くのグループ展を企画・運営、自らの創作発表だけでなく後進の指導にも積極的に当たり、彫刻立体作品の普及に努めている。

作品は、女性を中心とした人物像や頭像の優しい形態で、鑑賞者がその作品から、次の動きや次の物語など、広がりを持って想像できる、ゆとりのある作品を狙いとしている。

神戸市の「市展」審査員、神戸芸術文化会議運営委員、兵庫県の「県展」審査員や県下各市町の美術展審査員を歴任。また、兵庫県彫刻家連盟の代表や兵庫県洋画団体協議会事務局などを永年勤め、その功績に 2022 年兵庫県より文化功労者表彰を受賞。

受 賞 歴

第 2 回木内克彫刻大賞展 茨城県立美術館賞（1994 年／平成 6 年）

神戸市 神戸文化奨励賞（2005 年／平成 17 年）

文化団体半どんの会 文化賞（2009 年／平成 21 年）

兵庫県文化功労賞（2022 年／令和 4 年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

神戸芸術文化会議運営委員、兵庫県洋画団体協議会事務局、兵庫県芸術文化協会ギャラリー運営委員、美術団体一陽会運営委員

もりやま みらい
森山 未来

ダンス・舞台

40歳（贈呈式 12/2 現在）



©TakeshiMiyamoto

業績

神戸市出身の俳優、ダンサー。1999年に俳優として活動を開始し、日本国内を中心に演劇、映像作品に参加、これまでに数多くの映画賞等を受賞している。またダンサーとしても2013年に文化庁文化交流使に指名され、領域横断的に国内外で活動を展開。東京2020オリンピック開会式にてオープニングソロパフォーマンスを担当するなど顕著に活躍している。

国内外でのパフォーマンス作品制作時にアーティスト・イン・レジデンス（AIR：アーティストが一定期間滞在し、それまでと異なる環境の中で作品制作や調査・研究活動する取り組み）のプログラムを利用。その経験を経て、2022年に「Artist in Residence KOBE (AiRK)」の設立・運営に携わり、神戸で活動する文化施設・団体が招聘するアーティストの受け入れを推進。さらに「AiRK」自主企画としてのアートプロジェクトのキュレーションの他、六甲ミーツ・アート芸術散歩2023・2024開催時のオープニングパフォーマンスのプロデュース、海外のAIRとの交流プログラムとして市内複数箇所でのリサーチプロジェクトなども多数手掛けている。

神戸市主催のパブリックアートによる観光誘客事業「KOBE Re:Public Art Project」ではメインキュレーターを務め、アーティストによる神戸の魅力の再発掘及びリサーチ結果に基づくアート作品の公開について企画・運営を行った。

受賞歴

第66回毎日映画コンクール 男優主演賞（2011年／平成23年）

第16回日本インターネット映画大賞 主演男優賞（2011年／平成23年）

第86回キネマ旬報ベスト・テン 主演男優賞（2012年／平成24年）

第36回日本アカデミー賞 優秀主演男優賞、優秀助演男優賞（2012年／平成24年）

全国映画連 男優賞（2012年／平成24年）

第37回報知映画賞 助演男優賞（2012年／平成24年）

第25回日刊スポーツ映画大賞 助演男優賞（2012年／平成24年）

第21回読売演劇大賞 優秀男優賞（2013年／平成25年）

第10回日本ダンスフォーラム賞（2015年／平成27年）

第40回日本アカデミー賞 優秀助演男優賞（2016年／平成28年）

第94回キネマ旬報ベスト・テン 主演男優賞 (2020年/令和2年)

第75回毎日映画コンクール 男優主演賞 (2020年/令和2年)

第37回高崎映画祭 最優秀助演男優賞 (2024年/令和6年)

兵庫県芸術奨励賞 (2024年/令和6年)

カット・アバーク賞, NY (2024年/令和6年)

かんばら けんた

ダンス

38歳（贈呈式 12/2 現在）

東京都調布市



業 績

神戸市出身、東京都在住のプロダンサー、サーカスパフォーマー。生まれつき脊髄の機能が損なわれる「先天性二分脊椎症」により下半身にマヒの障害があり、日常生活で車いすを使用している。専門学校卒業後、システムエンジニアとして働いていたが、パフォーマンス用の車いすを見たことがきっかけで2016年にダンサーとして活動を開始。車いすを用いたダンスを行い、車いすの上で逆立ちを行ったり、倒した車いすの車輪に自身が乗り回転するなどアクロバティックな内容が特徴。活動開始の半年後にはリオデジャネイロパラリンピック閉会式に出演、その後も東京パラリンピック、NHK紅白歌合戦などに出演しており、今年5月に市内で行われたKOBE2024世界パラ陸上の開会式に出演した。

障がいのあるダンサーとして先駆的な様々な活動を行う一方、小学校での特別授業を行うなど、教育現場にも積極的に関わっている。

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

フリーのパフォーマーとして活動

じゅうば てんしん
十場 天伸

伝統工芸

43 歳（贈呈式 12/2 現在）

神戸市北区



撮影：白井真斗

業 績

陶芸家。伝統的な「スリップウェア」（18～19 世紀のイギリスで盛んになった泥状の化粧土、スリップで模様を描く技法）による器の制作を軸に活動。他に化粧土の代わりに重曹を原料とするソーダ釉を使い独特の青色を生み出す作品、スリップのうえに赤漆を塗布し仕上げた「陶胎漆器」など、常に新しい技法・分野にも挑戦している。高校時代にスリップウェアに出会い、米国留学などを経て 2007 年に独立。師匠につかず、独学で技法を習得してきたことが型にはまらない作品を生み出す原動力となっている。イギリスの伝統技法を用いながら、日本の和の空間に溶け込んだ作品は有機的な魅力が高く評価されている。アメリカのギャラリーでの個展開催、アジア各国での展示会開催など、活躍は海外にも及ぶ。作品はアメリカの有名ミュージシャンやスポーツ選手などがコレクションしているほか、愛好家などから入荷を心待ちにされる人気ぶりといわれる。近時は食器のほか、大きな壺やオブジェといった芸術作品の制作にも取り組んでいる。

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

合同会社つくも窯

くつわ しょうちくさい
轡 昭竹斎

伝統工芸

81 歳（贈呈式 12/2 現在）

神戸市北区



撮影：写真家 小笠原敏孝

業 績

安土桃山時代に起源を有する北区有馬地区の伝統工芸品「有馬籠」（竹籠）のマイスター。轡家の当主が名乗る「昭竹斎」の四代目。1967年に家業に入った時点で有馬籠を製作する工房は当家のみとなっており、伝統の火を消すことは出来ないという責任感を胸に籠師として60年近く編み組みの技術を磨いてきた。手作りの籠は茶道・華道などの分野で流派を問わず人気がある。他に箸やテーブルウェアなどの日用品のほか、近年はバッグ、ブレスレットなどの新しい分野にも挑戦。竹は10年以上経つと味のある色に変わり、商品自体の魅力が上がる。有馬籠の最大の特徴は徹底的な実用主義にあり、しっかり手入れをすることで、数十年のスパンで利用することができる有馬籠を、日々制作している。なお、有馬籠は現在進行中の三宮雲井通 5 丁目再開発ビルの低層部分の外装のモチーフ（竹籠デザイン）としても用いられている。

受 賞 歴

兵庫県物産組合賞（1978年／昭和53年）

大阪府中小企業団体中央会 会長賞（1978年／昭和53年）

昭和55年 ひょうご文化百選認定（1980年／昭和55年）

兵庫県伝統的工芸品指定（1993年／平成5年）

神戸市主催 デザイン塾 - 企業参加（2014年／平成26年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

株式会社くつわ取締役会長

スティールパン楽団

ファンタスティックス

音楽

2001年4月結成 神戸市長田区



業 績

2001年、阪神・淡路大震災により、大きな打撃を受けた新長田の商店街で「神戸21世紀・復興記念事業」として開催された「長田ラテンミュージックストリート」への参加をきっかけに結成。商店街の元商店主のほか、会社員や医療関係者、学生など、様々な分野・年代のメンバーが集い、演奏活動により新長田からの新たな文化の発信を目指そうと活動を続けている。毎年3月に開催する「アスタスティールパンコンサート」は、「1.17を忘れない」をコンセプトに、スクール生の発表と、楽団のコンサートの場として演奏を披露。9月に開催する「KOBE スティールパンカーニバル」は、全国各地からスティールパンのバンドやオーケストラなどが集結し、それぞれの演奏を披露する。また、主催イベントのほかに、東日本大震災で被災した宮城県へ出向いて演奏会を開催するなど、復興支援活動も行っている。毎年南アフリカで開催されるコンテスト「国際マリンバ&スティールパンフェスティバル」の「OL1」部門で1位に選ばれるなど、演奏力の高さも評価されている。

受 賞 歴

国際マリンバ&スティールパンフェスティバル OL1部門1位 (2020年/令和2年)

認定特定非営利活動法人

アメニティ 2000 協会

歴史的

建築物保全

2000年7月結成 兵庫県西宮市



業 績

2000年7月、ナショナル・トラスト（広く基金を募り対象資産の保存、管理、運営を行う活動）の理念のもと、歴史的資産の保存や自然との共存を目指す目的で設立。1936年建築の洋館「旧乾邸」（東灘区）の保存運動を展開し、同邸は神戸市文化財に指定された。1934年建築のヴォーリズ山荘建築を代表する「ヴォーリズ六甲山荘」（灘区）の保存運動にも取り組み、募金活動により2008年に法人で購入後国の登録有形文化財の指定を受けた。その後2018年には隣地を購入し14091.83㎡となった敷地内に、解体された名邸宅で同じヴォーリズ建築である旧室谷邸の部材を活かした室谷邸記念館を建設し、国立公園内の自然と文化財が共にある文化遺産として充実させてきている。

他に阪神間にある戦前の建築物の残存・保全状況を調査した結果400件の残存を確認し、報告書を作成するなど、歴史的建築物の保全活動を展開。また、歴史的建築物を会場とするコンサート「名建築と音楽シリーズ」の開催（開催地：旧乾邸、神戸教会、芦屋仏教会館、旧甲子園ホテル等）、豊岡市のコウノトリの郷での農業体験の実施、タイでの環境・農業教育プロジェクトへの援助活動など、長年に渡って環境保全、建築物保全、文化振興活動を続けている。

受 賞 歴

- ・2017年 ソロプチミスト神戸 SI 神戸表彰
- ・2019年 公益信託大成建設自然・歴史環境基金
- ・2020年 コープこうべ 第28回 虹の賞
- ・2022年 日本キワニス文化賞

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等

INTO (International National Trust Organisation)

ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

もんぜん よしやす
門前 喜康 文化振興

72 歳（贈呈式 12/2 現在） 神戸市西区



業 績

大学の卒論のテーマを「農村歌舞伎と農村舞台」としたことで「ふるさと兵庫・神戸」への関心が深まり、地元テレビ局に就職。放送マンとして番組作り、ニュース取材やドキュメンタリー制作を経験し更に地域社会への思いが強くなり、郷土の生活や文化、芸術、芸能への関係を深める。特に須磨寺に伝わる「一弦須磨琴保存会」との関係は長く、後援会の一員として長年記念演奏会の企画・構成・演出を行っている。阪神・淡路大震災を機に故時実新子氏に師事し、川柳人としても活躍。また、ユニバーサル社会づくりへの観点から障がい者支援やユニバーサルツーリズム推進に取り組むほか、神戸芸術文化会議の一員として多様な演奏会のプロデュースを行うなど、地域文化振興に寄与する積極的な活動を続けている。

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

神戸芸術文化会議常任委員（学術評論部会長）、NPO法人ウィズアス顧問、井植記念文化賞選定委員、元 法務省人権擁護委員